



協力：ホビージャパン

MG
MASTER GRADE
FIGHTING ACTION

ネオホンコン モビルファイター
GF13-001NHII
マスターガンダム
1/100スケール
マスターグレードモデル

MASTER GUNDAM

NEO HONG KONG MOBILE FIGHTER GF13-001NHII



MOBILE FIGHTER
GF13-001NHII

MASTER GUNDAM

NEO HONG KONG
MOBILE FIGHTER



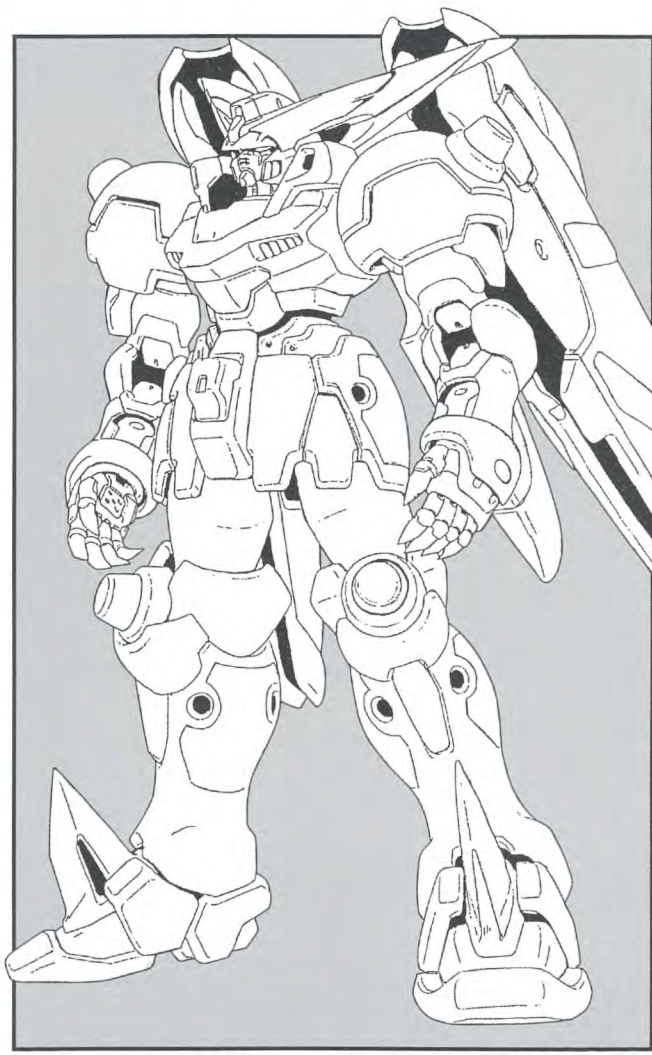
MG
MASTER GRADE
FIGHTING ACTION

ネオホンコン モビルファイター
GF13-001NHII
マスターガンダム
1/100スケール
マスターグレードモデル

BANDAI 2002 MADE IN JAPAN

**BAN
DAI**

0108827



GF13-001NHII MASTER GUNDAM

GF13-001NHII マスターガンダムは、第12回ガンダムファイトの優勝者であるマスター・アジア（東方不敗）が、同大会を共に戦ったGF13-001NHII クーロンガンダムから乗り換えたMF（モビルファイター）である。第13回ガンダムファイトには、決勝大会に際し「サバイバルレプンのデータを移植した機体に限り、一度だけ乗り換えることが可能である」とするレギュレーションがあり、表向きにはこれに則った形の移乗とされたらしい。第12回ガンダムファイト開催時、クーロンガンダムの登録コードはGF-12-035NHであった。これは、第11回大会におけるネオホンコンのランクが35位であったことを示す。それを一気に挽回したばかりか優勝に導いたのがクーロンガンダムでありマスター・アジアだったのである。そしてマスター・アジアは、第13回大会にもクーロンガンダムで出場し、順調に駒をすすめていた。この機体は、GF（ガンダムファイター）であるマスター・アジアの動きを寸分たがわずにトレースし、得意技である布技までも使いこなすことができる。さらに、デビルガンダムの配下であるデスアーミーにネオジャパンの新宿が侵食された際、愛弟子のドモン・カッシュが駆るシャイニングガンダムとの連携で「超級霸王電影弾」を放ち、デスアーミー軍団を撃破している。

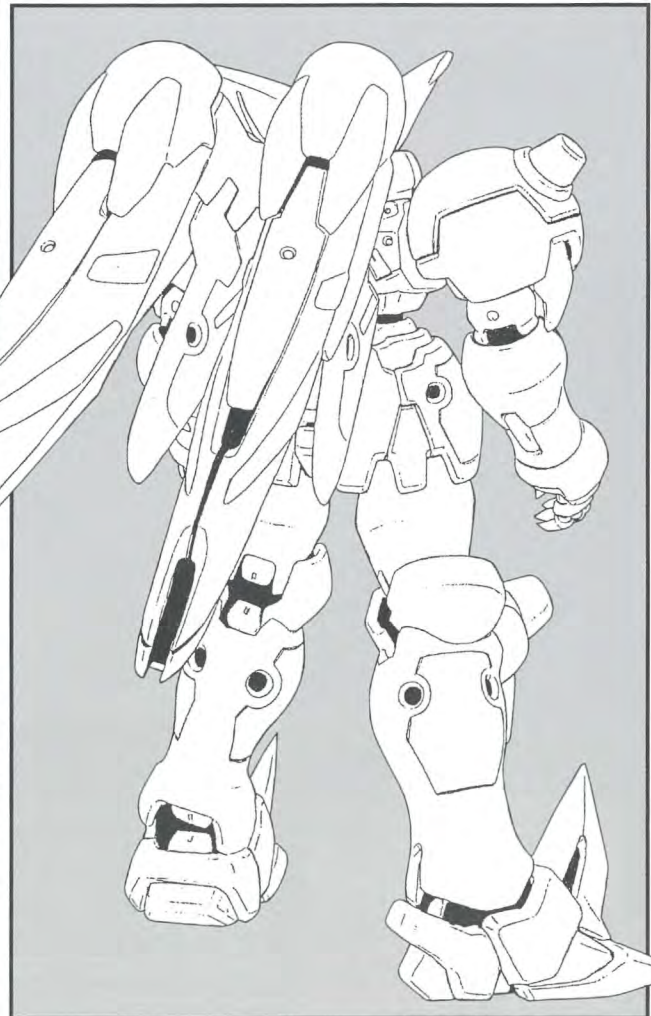
ところが、マスター・アジアは、地球におけるデビルガンダム事件の黒幕であり、クーロンガンダムの内部には、デビルガンダム四天王のリーダー、マスターガンダムが隠されていたのである。

ドモンと親交のあった4人のGFにDG細胞を植えつけ配下としたデビルガンダムは、4機のガンダムを操りドモンを窮地に陥れる。そこに、はるか古より

地球上の戦いを調停してきたシャッフル同盟が現れ、ドモンと4人の仲間を救う。この時シャッフルのメンバーは自らの命と引き換えにDG細胞を取り除き、自らの紋章を4人へと継承。ドモンら5人の若者たちは事なきを得た。

マスターガンダムの開発経緯は謎に包まれており、事実上、マスターガンダムのGFであるマスター・アジアと、ネオホンコン首相のウォン・コンファ以外に詳細を知る者はいない。しかし、その特徴を検証すると、かつてマスター・アジアがシャッフル同盟のメンバーだった時期に乗機としていた機体シャッフルハートこそがマスターガンダムの原型機であった可能性も否定できない。

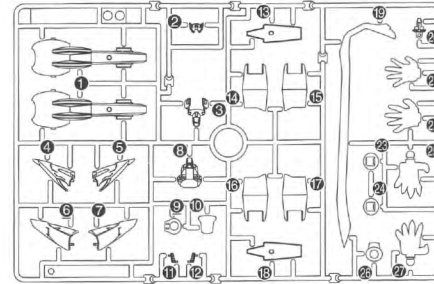
マスター・アジアがデビルガンダムと邂逅を果たしたのは第13回大会直前であり、ほぼ同時にシャッフル同盟から離反してきているため、シャッフルハート→クーロンガンダム→マスターガンダムに至る過程は判然としづらい。少なくとも、第13回大会に出場したクーロンガンダムの内部には既にマスターガンダムが組み込まれていたことから、第13回大会直前に、クーロンガンダムとシャッフルハートを融合させてマスターガンダムを作り上げたのではないかと考えることができる。実際、クーロンガンダムからマスターガンダムへの変化もDG細胞によるものであったはずだ。DG細胞は強靱な精神力を持つ生物を侵食することはできず、逆にコントロールされてしまうという特徴を持っている。マスター・アジアは、その心の強靱さでもってデビルガンダムの“地球再生の意志”を感じ、その手段として自らマスターガンダムを作り上げたのだろう。さらに、作り上げられた機体はその状態で固定されており“修復”以外の機能はマスター・アジアの意志によって封印されているように見受けられる。すなわちマスターガンダムは、意識的にDG細胞を使役しない限り、DG細胞として機能する可能性は皆無であることになる。完璧に管制されたDG細胞は、MFにとって最強の材料である。これは、カッシュ博士らが考えていた“アルティメット”ガンダムの理想形であったはずだ。その意味でマスターガンダムはまさに最強のMFであったと言える。



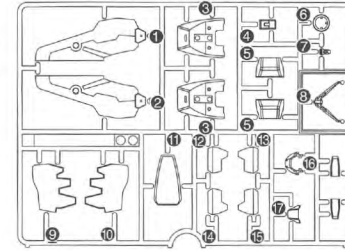
Conceptual illustration : Katoki-Hajime

パーツリスト

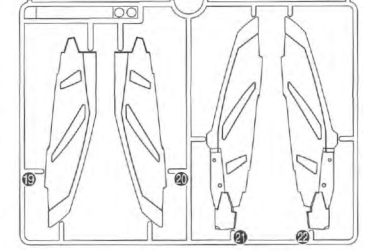
Aパーツ (スチロール樹脂 : PS)



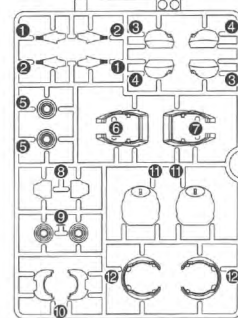
B1パーツ (スチロール樹脂 : PS)



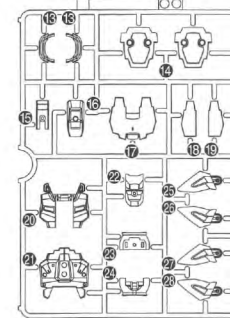
B2パーツ (スチロール樹脂 : PS)



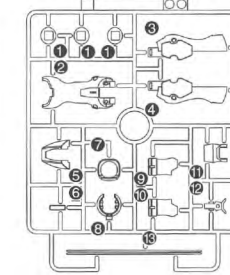
C1パーツ (スチロール樹脂 : PS)



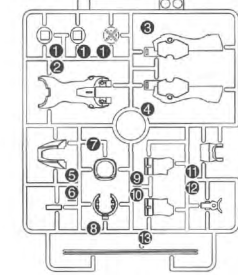
C2パーツ (スチロール樹脂 : PS)



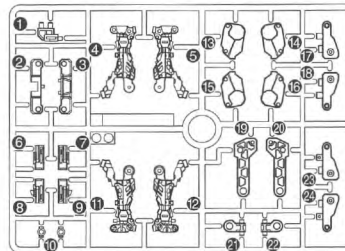
Dパーツ (スチロール樹脂 : PS)



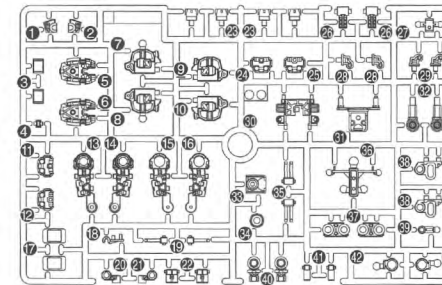
Dパーツ (スチロール樹脂 : PS)



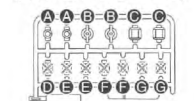
Eパーツ (ABS樹脂 : ABS)



Fパーツ (ABS樹脂 : ABS)

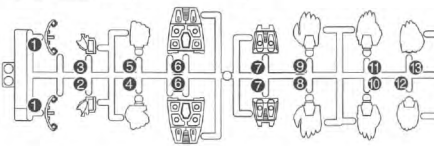


PC-123 (ポリエチレン : PE)

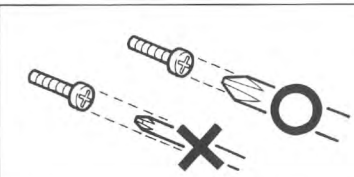
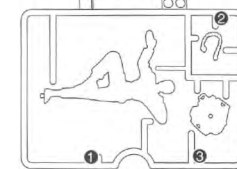


- カラーシール…………… 1枚
- マーキングシール…………… 1枚
- ビスTP2×5座付…………… 6個+1個
- ビスM2×4…………… 2個+1個
- ビスTP2×5…………… 4個+1個
- ビスM2.6×6…………… 1個+1個
- ナット(小)…………… 2個+1個
- ナット(大)…………… 1個+1個
- リード線…………… 1本
- (塩化ビニル樹脂 : PVC)

Gパーツ (合成ゴム : TPE)



H1パーツ (スチロール樹脂 : PS)



△ 注意
お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

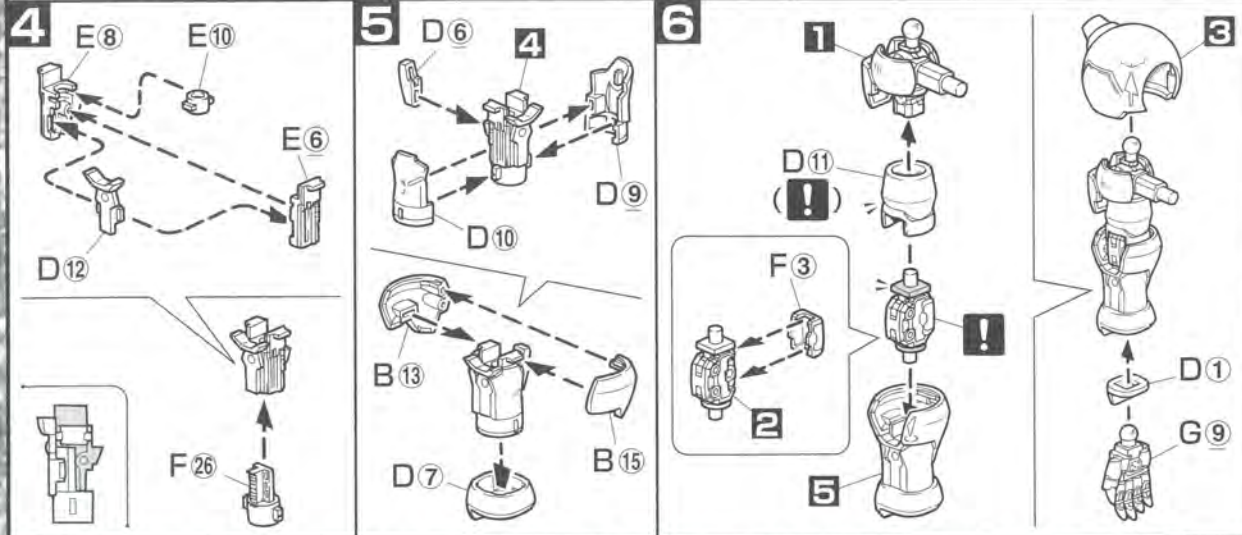
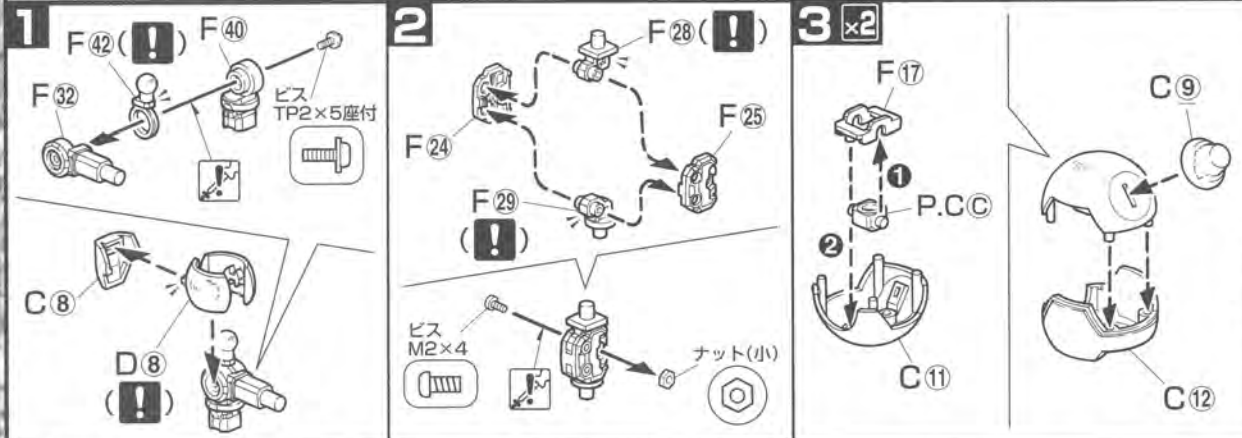
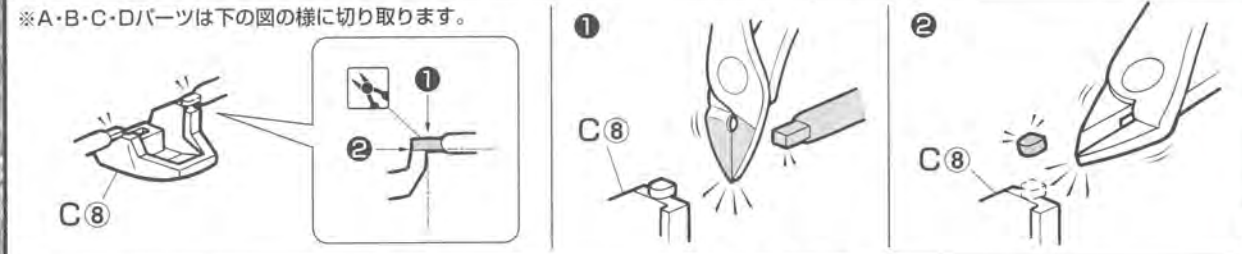
- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

※このキットの組み立てには+（プラス）ドライバーを使いますので別にご用意ください。

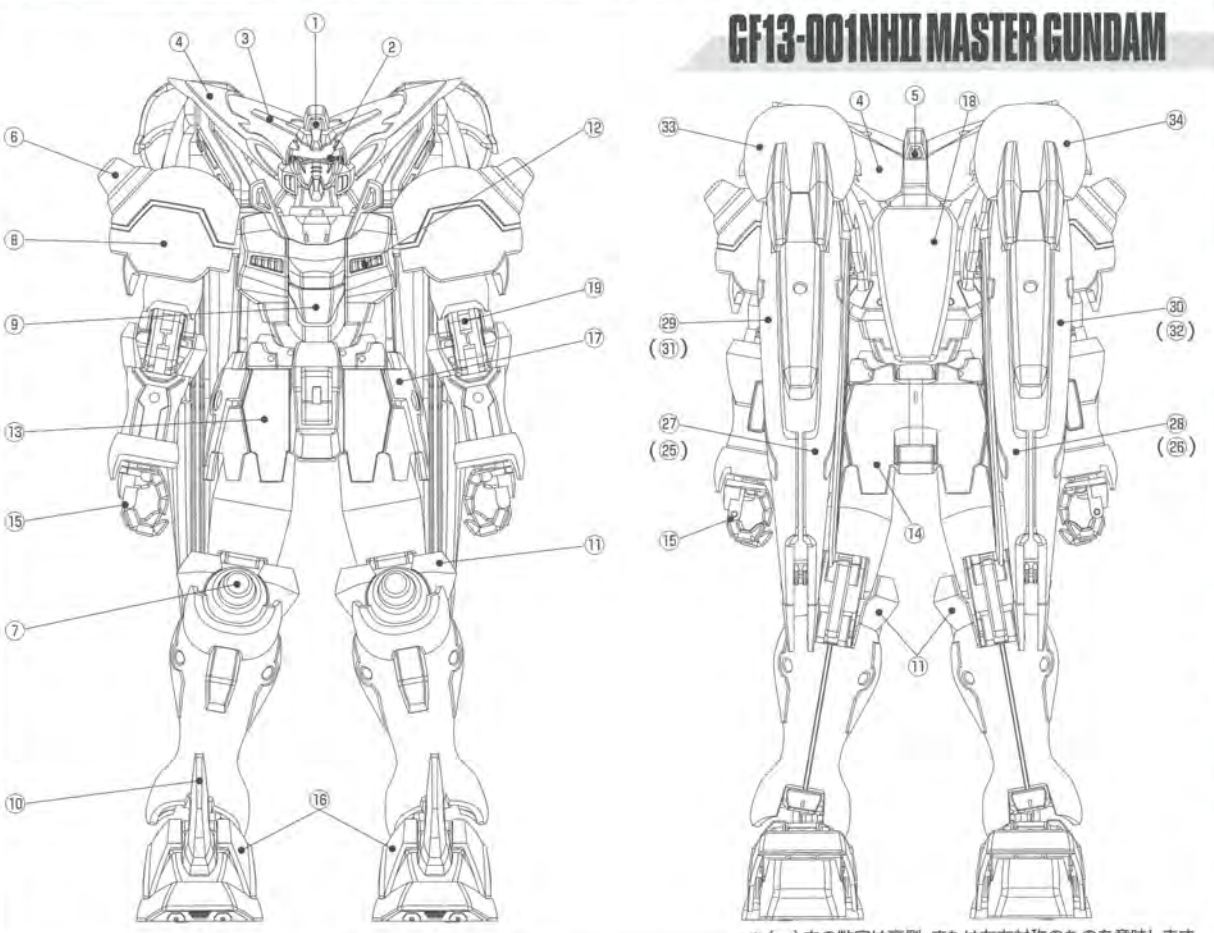
（組み立てる時の注意）

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。
- 尖った先端や薄い縁端部に触れながらの組み立てには十分ご注意ください。
- ABS部分への塗装は破損する恐れがありますので、塗装はおすすめできません。

・接着をするところの線	・シールの番号	・デカールの番号	・反対側に取り付けるパーツ	・両側に同じパーツを取り付ける	・向きに注意して取り付ける	・ビスの締めすぎに注意
・切り取る場所	・部品を数値の個数作ります	・先に組み立てます	・後に組み立てます	・数値に合わせて回転させます	・どちらかを選んで取り付ける	・反対側も同じように動かします



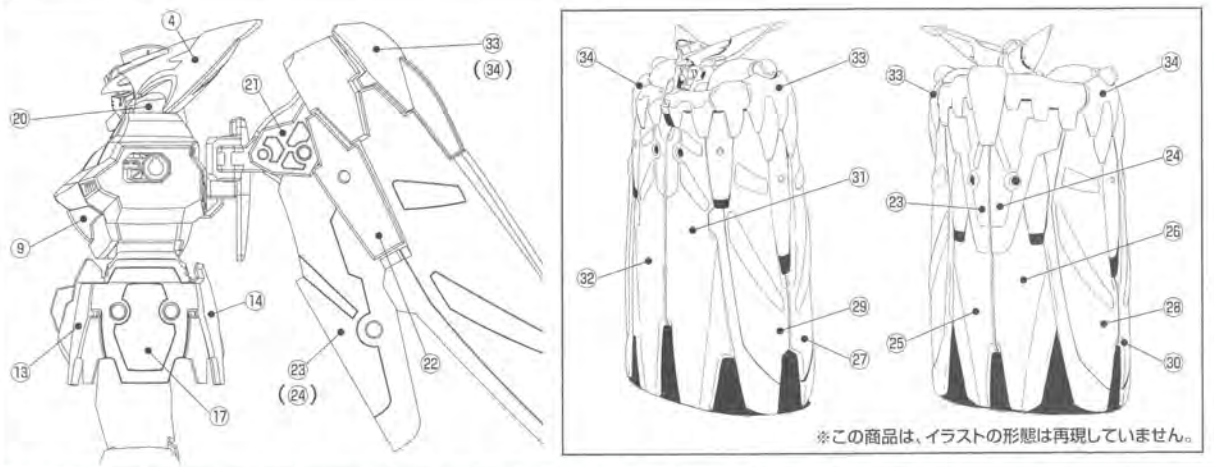
GF13-001NHD MASTER GUNDAM



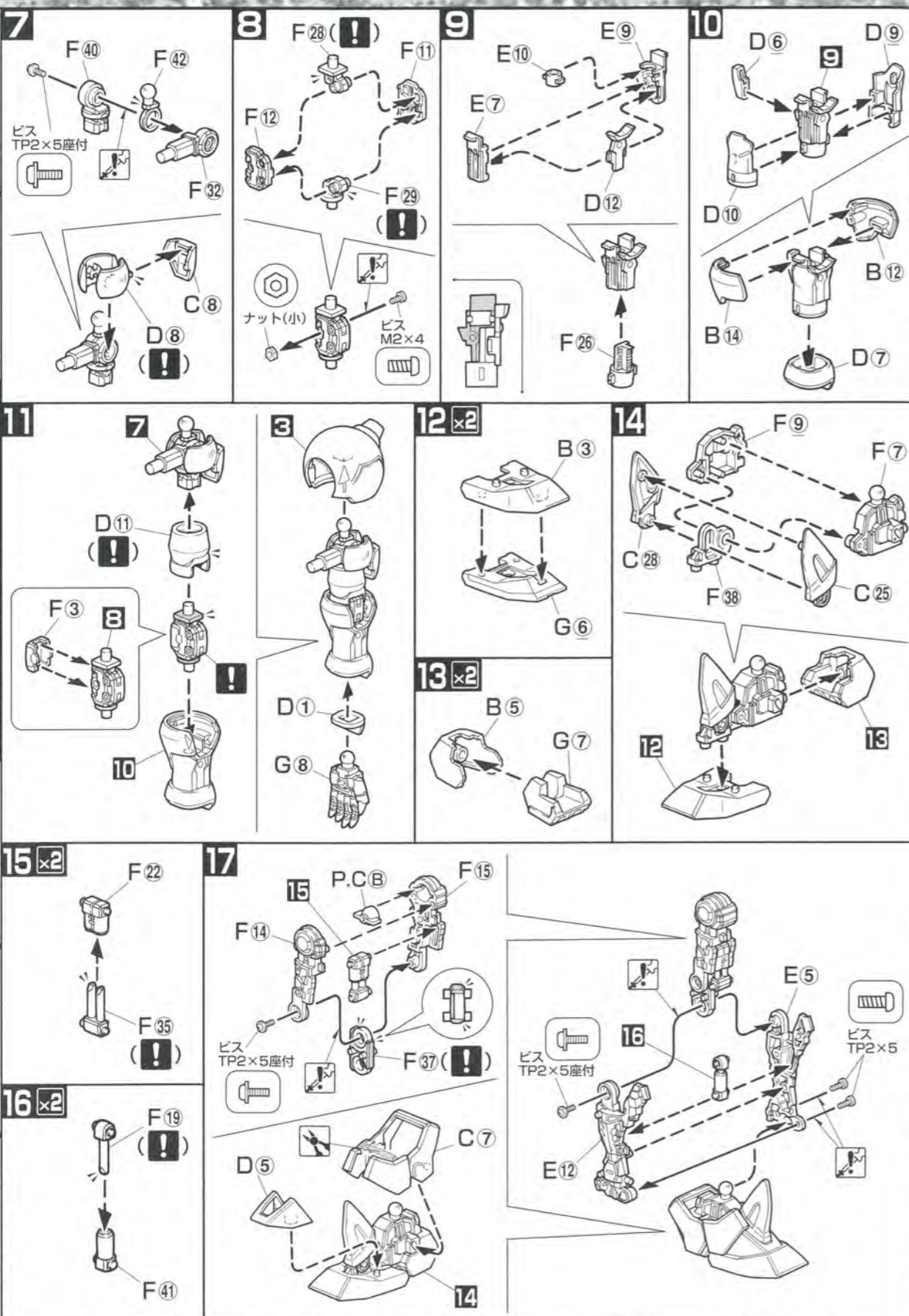
※()内の数字は裏側、または左右対称のものを意味します。

- | | | | |
|----------------|--------------|----------------|--------|
| ①メインカメラ | ⑩インステップファン | ⑱ドッカルエルボージョイント | ⑳“約”の翼 |
| ②デュアルカメラ | ⑪ニージョイントアーマー | ⑲フェイスカバー | ㉑“業”の翼 |
| ③多目的ブレードアンテナ | ⑫インターク | ㉒フレキシブルウイングアーム | ㉒“倫”の翼 |
| ④センサーアレイホーン | ⑬フロントアーマー | ㉓ウイングヒンジユニット | ㉓“気”の翼 |
| ⑤リアセンサー | ⑭リアアーマー | ㉔“王”の翼 | ㉔“戒”の翼 |
| ⑥ショルダープロジェクション | ⑮マニピュレーター | ㉕“縦”の翼 | ㉕“覇”の翼 |
| ⑦ニープロジェクション | ⑯アングルアーマー | ㉖“争”の翼 | ㉖“破”の翼 |
| ⑧ショルダーアーマー | ⑰サイドアーマー | ㉗“棄”の翼 | |
| ⑨コクピットハッチ | ⑱ネイブアーマー | ㉘“道”の翼 | |

注)本機は、第13回ガンダムファイトの主権国であるネオホンコンのガンダムファイターマスター・アジアの2機目の乗機である。サポートメカとして、マスター・アジアの愛馬「風雲再起」が乗る同名のモビルホースへ座乗、あるいは同機が変形した台座を駆って大気圏外への脱出を可能としている。



※この商品は、イラストの形態は再現していません。



GUNDAM FIGHT

ガンダムファイト国際条約7カ条
 第一条 頭部を破壊されたものは失格となる。
 (補足:試合中の過失によるGFの殺傷は認められる)
 第二条 相手のコクピットを攻撃、破壊してはならない。
 第三条 破壊されたのが頭部以外であれば、何度でも修復し、決勝リーグを目指すことができる。
 第四条 GFはおのれのガンダムを守り抜かなければならない。
 第五条 一対一の戦いが原則である。
 第六条 国家の代表であるガンダムファイターは、その威信と名誉を汚してはならない。
 第七条 地球がリングだ!
 (補足:ガンダムファイトによって地球上の建築物を破壊しても罪に問われることはない)

ガンダムファイトはF.C.(未来世紀)世界において国際条約として制定されており、この条約に批准する全ての国家に参加の権利と履行の義務が発生する。
 4年に一度、各国家は自国の代表たるMF(モビルファイター=格闘などに特化されたガンダムタイプのMS)およびGF(ガンダムファイター=MFの搭乗者たる格闘者あるいは技能者)を建造/選出し、主催国家によるレギュレーションに則ってガンダムファイトが運営されるのである。そして、勝利したガンダムが所属する国家によって、その後の4年間地球圏の統治および運営が行われるのである。
 すなわちガンダムファイトとは、戦争によらない世界支配のシステムであり、しかも、4年に一度、どんな弱小国であろうと、どんな超大国であろうと、世界に覇権を唱える権利を手に入れられる可能性がある究極的に公平な戦争抑止効果をも持つ汎地球規模の一大イベントでもあるのである。
 それでは、ガンダムファイト! レディー、ゴォーツ!!

MOBILE TRACE SYSTEM

MFのコクピットには、標準装備として「バーチャルコクピット」と「ファイティングスーツ」の着用を前提とする「モビルトレースシステム」の搭載が義務付けられている。

このシステムは全機に共通で、F.C.08年に初めて開催された第一回ガンダムファイトから基本的にほとんど変わっていない、ガンダムファイトの理念を体現するシステムである。ガンダムファイトの理念とは「人機一体」であり、ガンダムとGFの一体化が求められているのである。そのため、MFにはGFの挙動を正確に反映する機能があり、逆に、MFが受けるダメージをGFに伝える機能も存在する。この原則に違反しない限り、各種のセンサーや武装のトリガー機構などの追加は任意で可能とされている。特にマスター・アジアが搭乗するクーロンガンダムおよびマスターガンダムのコクピットシステムは独特で、搭乗時に特別なファイティングスーツを着用していない。これは、マスター・アジアが常に着用しているものがファイティングスーツの機能を持っているとする説(これには布技に使う布地の流用説もある)と、ホロコクピットが非常に高性能でその必要がないと言う説。さらに、マスター・アジアが自らのアストラル体(物質的な肉体と重なり合って存在する精神的な身体。あるいは「オーラ」や「気」の類によって肉体を模した形を成すフィールドなどのこと。時折マスターガンダムの顔がマスター・アジア自身のように見えるのはそのためだろう。当然、伸縮も自在と思われる)を用いて人機一体を達成しているという説などがある。いずれにしろ、機体コントロールやダメージのフィードバックなどの基準を満たしている点に関しては各国の査察団も検証済みであり、レギュレーション違反の疑いは皆無であるという。

HEAD AREA

いわゆるMF「ガンダム」の機体制御システムのほとんどは頭部に集約されているため、全機ほぼ共通のウィークポイントとなっている。

レギュレーションでもMFの頭部損壊は敗北の条件のひとつになっている。この部位のクオリティは、高度なセンサーや演算装置を高密度にコンポーネントした「工業力」そのものを見せつけることでもあるし、逆に、構造や意匠において、それだけ各国の技術力やGFの技量が問われる最重要ユニットでもある。ただし、マスターガンダムに限って言えば、工業力の発露というよりは、GF自身の挙動や「技」の再現にどのような装置が使用されているかという点において特筆すべきであり、GFである東方不败が生身で発揮する技能の再現が可能であるという事を考えれば、第11回大会までの携行兵器重視の風潮が覆されてしまったのも無理のない話だっただろう。ましてや、マスターガンダムには構造的に不明な部分も多く、ネオホンコンが開発した機体であることを考えれば、配色や各部位の形状など、鬼門通甲や風水が取り入れられているという説がまことしやかに囁かれたりしているが、それらがMFを通じて発揮されていることは事実なのである。ガンダムファイトが新たな局面に達したことは間違いないようだ。



Mechanism illustration: BEE-CRAFT

GUNDAM FIGHT, READY, GO!



DEEPLY DESPAIR

4年前、第12回ガンダムファイトに“正しい戦いを守る”という名目で参加し、優勝を成し遂げたマスター・アジアだったが、ガンダムファイトそのものが地球の環境を悪化させていることを、そしてそれに自らも手を染めていたことを知り、深い絶望を感じていた。「何がシャッフル同盟だ……、何がキングオブハートよ!」そんなとき、マスター・アジアはデビルガンダムと出会った。地球環境の回復を目的として開発されたアルティメットガンダムは、地球に墜落したショックで機能不全を起こし、デビルガンダムと化していた。そして、人類の抹殺こそが地球を生き返らせる唯一の手段だと判断したのだ。デビルガンダムが発する地球環境復活への激的な衝動に感化されたマスター・アジアは、自ら修羅の道を選び、そうすることで闘いに明け暮れてきた人類すべての罪を贖おうと考えるようになった。その意思は揺るぎないものとなり、マスター・アジアは行動を開始した!

ARKNESS FINGER

第13回ガンダムファイトの決勝戦まであと3日。しかし、ギアナ高地でのドモンの修行はまだ完成していなかった。世界各地からは続々と強豪たちがネオホンコンを目指している。しかし、シャッフルの仲間たちもドモンを気遣ってギアナ高地に居残っていた。これまで拳を通して語り合ってきた最強の仲間を抜きにして闘うガンダムファイトなど、彼らにとっては意味のないものだったからだ。そこに、マスター・アジアが姿を現した。修行なかばであるにも関わらず、マスターガンダムに踊りかかるドモン。しかし、マスターガンダムの繰り出すダークネスフィンガーの威力は凄まじく、ドモンの駆るシャイニングガンダムは完膚無きまでにたたきめされてしまうのだった。果たしてドモンは、そして仲間たちは、この窮地を脱することができるのか!?



A GENUINE SUCCESSION

デビルガンダムを破壊されたマスター・アジア、兄キョウジ、強敵シュバルツを襲ったドモンは、互いに怒りをぶつけ合う。持てる技を、力を、心を尽くしてぶつかりあう拳と拳。GF史上最大の戦いが始まった! 激突する流派・東方不败同士の激闘! そのさなか、マスター・アジアは、ガンダムファイトの矛盾を告発する。しかし、ドモンはそれに反論する。「無闇に人が死ぬよりは、はるかにいい!」「だからお前はアホなのだあ!!」ダークネスフィンガーとゴッドフィンガーが激しく交差する。その刹那、ドモンはマスターの拳に深い哀しみを感じた。しかしドモンはあえて、奥義で応える。「超級霸王電撃弾!!!」互いの放つ巨大な渦がランタオ島の頂上を吹き飛ばす。それでもふたりは闘いをやめようとはしなかった。遂に、双方の機体は金色の輝きに包まれた。「流派! 東方不败が最終奥義! 石破天驚拳んっ!!」ふたりは同時に叫び、互いの放つ光は島全体を包み込んでいく。そしてその静寂の中、ドモンはキングオブハートを真に受け継ぐ……。



FIGHTING ACTION

内部に組み込まれたアクションフレームにより、モビルファイターの最大の特徴である大胆な格闘ポーズを実現。



背面の二基のウイングシールドをリアルに再現。



マスタークロスとダークネスフィンガー用の手は、クリアパーツで再現。

DETAIL

ACTION FRAME

PAINTING

※よりリアルに仕上げたいかたは、下の基本色をご覧ください。

●このキットをよりリアルに塗装したい方は、GSIクレオスより発売のガンダムカラー(MG「マスターガンダム」用、その他カラーセット)をお使いください。

- 本体等の塗装色:
ブラック(60%) +
ネービーブルー(40%)
またはガンダムカラーブルー-20
- 腕、足等の塗装色:
ブルー(40%) + ブラック(30%) +
レッド(20%) + ホワイト(10%)
またはガンダムカラーブルー-21
- ウイングシールド等の塗装色:
モンザレッド(100%)
+ ブラック(少量)
またはガンダムカラーレッド1
- 関節等の塗装色:
ニュートラルグレー(60%) +
ミッドナイトブルー(40%) +
パープル(少量)
- インテーク等の塗装色:
イエロー(50%) +
オレンジイエロー(40%) +
ホワイト(10%)
- 顔(マスク部)の塗装色:
ホワイト(100%)
+ ネービーブルー(少量)
- 目、センサーの塗装色:
イエローグリーン(90%)
+ ブルー(10%)



FRONT VIEW



MASTER ASIA (東方不败)

ネオホンコン代表のガンダムファイター、マスター・アジアを躍動感あふれるポーズでフィギュア化しました。



